



# 名勝小金井桜の会 会報 ヤマザクラ

第7号  
2016年7月

発行：事務局 植竹  
Hp <http://koganeizakura.com>  
〒184-0004  
小金井市本町 4-19-8



第18回写真展金賞  
「継承」

撮影：中川喜美子

## 最近の活動状況 その1：

### \*28年度年次総会（5月21日）

5月21日に18名の出席を得て今年度総会を開催し、27年度決算や28年度の役員体制、活動計画、予算について審議しました。

27年度決算では、育苗ファームの移転経費が、節約に努めた活動と想定より多額の寄付収入があった「さくら基金」からの”寄付”を受けることで、なんとか赤字を脱却できたことが報告され承認されましたが、なおギリギリの財務状況が続いており、今年度も継続して緊縮予算とすることとなりました。

また今年のトピックスとして西岡小金井市長、篠原小金井市議会議長、木村都議会議員をお招きし、会の活動状況を知って頂く機会としたのとあわせ、会員との意見交換を実施しました。

小金井桜の復活に向けて、中長期の計画・ビジョンが示されない中で制約の多い後継樹用の苗木育成を担っていることに関し会員から多くの質問が出て、都の各部局や関係各市との連携強化の重要性が再認識されるとともに、各氏から積極的に取組むとのコメントが得られました。

### \*第18回小金井桜写真募集・展示（5月・6月）

6月3日～5日に開催された緑センターまつりの展示部門で当会恒例の第18回名勝小金井桜写真展を行いました。応募作品は58点、5月6日に写真家鏑山英次先生の審査をお願いし展示作品20点と受賞作品4点を選んいただきました。また展示期間中に会場で行った人気投票で人気投票1位の作品が選ばれました。

6月18日当会の定例会に先立って写真展の受賞者（金賞1名、銀賞3名、人気投票1位1名合計5名）をお招きして賞状・記念品の授与式を開催しましたが、ご出席の4名の方からそれぞれ受賞作作品についてなどお話を伺うことができました。



裏面に続く

## 最近の活動状況 その2

### \*育苗ファーム活動（6月）

5Mもの25本、3M以下47本の除草・剪定を実施しました。苗木は順調に育っています。

一方、28年度の玉川上水への植樹計画を東京都・小金井市・武蔵野市とそれぞれ協議しています。併せて育苗ファームの将来計画も検討しています。



### \*さくら基金の状況（6月30日まで）

基金・イベント募金の累計額 239口 2,688,002円  
前回の報告値（27年6月） 203口 2,570,704円 増加額=117,298円

厳しい財務状況にあることに鑑み、引き続き皆様の暖かいご支援を期待しています。

参考：27年度決算 収入；411,300円

支出；324,762円

（一般会計支出の「育苗ファーム移設費」766,649円の約半分を補填しました）

次期繰越金；353,007円

---

### \*お願い：口座振込の区分にご注意ください。（口座番号が違います）

	会費納入の振込	さくら基金納入の振込（用紙同封）
・振込先；	多摩信用金庫 小金井支店	同左
・預金種目；	普通預金	同左
・口座名義；	名勝 小金井桜の会	同左
・口座番号；	2365732	2387825

---

### 今後の予定：

\*第15次樹勢調査 28年7・8月  
昨年同様の調査方法で5ブロックを各ブロック毎にメンバーの都合に合わせて日程を調整し、7～8月中に実施します。

\*第2回カプトムシ相撲大会（NPO活動）  
28年7月17日  
小金井市緑センターにて、午前10時より開催。

### <定例会合>

\*例会；毎月第3土曜日 午前10時～12時  
場所：小金井市文化財センター 会議室

### \*育苗ファーム活動；

毎月第1土曜日 午前10時～12時  
場所：本町3丁目 小長久保公園

### 会員になりませんか

ソメイヨシノとは一味違う個性豊かな玉川上水兩岸のヤマザクラを守り、昔のように復活させようではありませんか。小金井橋のもとでお花見をする日を目指して、さああなたも「名勝小金井桜の会」へご入会ください。

問合せ先：事務局 植竹

電話 042-388-1291

メール bien505@yahoo.co.jp

### <編集後記>

会報第7号をお届けします。先月今年度の総会を開催し、その審議結果を「総会議案書（承認版）」として会員各位に郵送・メールでご連絡しましたが、その後4名の方からご逝去やご高齢で体調不良を理由に退会のご連絡をいただきました。ここ数年会員の高齢化が進み、同様の理由で退会される方が、毎年かなりの数になっています。改めて健康管理にご留意いただきたく思いますと同時に、会の若返りの必要性も強く感じています。